

KEIO
KEIO



The 67th
WASEDA vs KEIO
Basketball Game

第67回早慶バレーボール
2009
WK
66SAT
早稲田大学バレーボール部

Time Table

09:30~	男子新学一△組 (7分スル-4Q)	10:30~	OG組 (7分スル-4Q)
11:30~	OB組 (7分スル-4Q)	12:30~	開会式 (選手整列、エール交換)
13:00~	女子組 (10分4Q)	14:50~	男子組 (10分4Q)
16:30~	閉会式 (選手整列、優勝授賞式等)		



慶應義塾大学



部長 大谷 俊郎 | 監督 戸崎 洋 | H・コーチ 佐々木三男 | A・コーチ 実吉 邦純 | S&C・スタッフ 山木 伸允 | 学生コーチ 小林 洸樹 | 主務 湯原 啓太

慶應義塾大学 看護医療学部教授、医学部兼任教授 | 慶應義塾大学 環境情報学部教授 | 日本体育大学 環境情報学部教授 | 慶應義塾大学 | 早稲田大学 | 商4 慶應志木 | 環境情報4 成蹊



たのうえ かずよし 環境情報
田上 和佳 4
□ F □ 188 □ 76
□ O □ 1987.5.20
□ 筑紫が丘
□ 絶対勝ちます!



こばやし だいすけ 総合政策
小林 大祐 4
□ G/F □ 188 □ 82
□ A □ 1987.6.24
□ 福大大濠
□ 勝ち越すチャンス!
□ 頑張ります!



かんだ ともひろ 経 済
神田 智浩 4
□ G □ 182 □ 72
□ B □ 1987.5.12
□ 慶應義塾
□ とにかく勝つ



いわた たつろう 総合政策
岩下 達郎 3
□ C □ 205 □ 97
□ B □ 1988.12.16
□ 芝
□ 勝ち越す!!



にのみや こうへい 環境情報
二ノ宮康平 3
□ G □ 173 □ 69
□ A □ 1988.8.1
□ 京北
□ 3連覇!!



さわたに ひろゆき 政 治
澤谷 裕之 3
□ F □ 190 □ 85
□ A □ 1988.11.7
□ 慶應志木
□ ハッスルします!!



かねこ しゅんや 環境情報
金子 峻也 2
□ G □ 175 □ 67
□ B □ 1989.9.22
□ 春日部
□ 慶應らしさを出しきります!



はるもと たつあき 環境情報
春本 龍彬 2
□ F □ 190 □ 82
□ B □ 1989.10.20
□ 春日部
□ 慶應は負けません!



いしい けいいち 総合政策
石井 敬一 4
□ GF □ 182 □ 78
□ O □ 1986.5.9
□ 桐蔭学園
□ どれだけの準備をすれば、万全といえるのか?



かんだ たかひろ 経 済
神田 貴浩 4
□ G □ 183 □ 79
□ AB □ 1987.5.12
□ 慶應義塾
□ 勝って旨い酒を飲む!!



たなはし ゆいと 政 治
店橋 唯斗 4
□ G □ 173 □ 65
□ AB □ 1988.2.6
□ 長岡
□ もう、勝つしかないでしょう。



にしぐち ゆうき 政 治
西口 裕規 4
□ F □ 185 □ 75
□ O □ 1987.12.8
□ 慶應湘南
□ 勝ち越し!



やじ けいた 環境情報
家治 敬太 2
□ PF □ 188 □ 80
□ O □ 1989.5.1
□ 清風南海
□ やっぱ、早稲田には勝ちたいねん!



かつら りょうま 政 治
桂 竜馬 1
□ F □ 194 □ 85
□ B □ 1990.9.4
□ 国立
□ 楽しく全力で頑張ります



しみず たかあき 環境情報
清水 隆亮 1
□ F □ 190 □ 87
□ AB □ 1990.8.31
□ 春日部
□ 頑張ります



はらた たくや 総合政策
原田 拓弥 2
□ C □ 201 □ 85
□ B □ 1989.11.9
□ 岡崎城西
□ 塾生らしく頑張ります。



はら じょうじ 商
原 城二 4
□ F □ 187 □ 84
□ A □ 1986.8.23
□ 慶應NY
□ 早稲田に勝たなきゃ許さな~い!



かながわ りょうすけ 環境情報
金岡 亮介 3
□ F □ 185 □ 80
□ A □ 1988.12.21
□ 正智深谷
□ 俄然慶應を応援します!



くろさわ ゆう 政 治
黒澤 悠 3
□ PG □ 175 □ 69
□ A □ 1988.10.20
□ 慶應志木
□ 無敵勝ちます。



さかい ゆうすけ 環境情報
酒井 祐典 3
□ F □ 186 □ 84
□ O □ 1988.4.16
□ 福大大濠
□ 必ず今年で勝ち越します。



氏名	学部・学年	P	身長	体重	血液型	生年月日	出身校	自己アピール
ひろた 廣田 祐司	商	4	学生 173	67	AB	1986.10.26	慶應義塾	打倒、早稲田！
きし 岸 俊介	環境情報	4	学連 182	75	B	1987.6.29	Lake Mary	裏で支えてくれている、すべての人に感謝
まるはし 丸橋 駿貴	環境情報	3	F 184	79	?	1988.4.30	國學院大學久我山	絶対に勝ち越します
いたくら 板倉 琢磨	経済	3	学生 175	67	A	1988.12.28	慶應志木	勝ちます
かとう 加藤 誉樹	環境情報	3	学連 188	72	O	1988.6.30	福大大濠	早慶戦も全力を尽くします！
いがらし 五十嵐 将司	経済	3	志木高 180	78	O	1988.7.30	慶應志木	全ては勝利のために！
ふくだ 福田 理	文	3	副務 183	68	AB	1988.7.23	大田原	頑張ります。
あそ 麻生 慧	環境情報	2	F 186	76	AB	1989.7.20	長崎西	絶好調です。
あんざい 安西 力哉	商	2	G 163	58	O	1989.1.24	South High School	ライバル意識と存在感をどんどん出していきます。
いづか 飯塚 文貴	政治	2	G 171	64	A	1989.12.24	慶應義塾湘南藤沢	やりましょう。
おさき 尾崎 康隆	経済	2	G 169	66	B	1989.11.17	慶應義塾高校	今年こそ出ます！
たかまつ 高松 将吾	政治	2	G 174	65	B	1989.6.26	慶應義塾高校	勝って勝ち越し!!
たなはし 店橋 彩	政治	2	G 170	60	AB	1989.7.1	長岡	伝統を受け継いでいきます
はん 咸 敏誠	総合政策	2	F 184	74	B	1989.12.28	桐蔭学園	早稲田に絶対勝つ
ふじき 藤木 譲	政治	2	F 186	78	A	1989.9.11	國學院大學久我山	絶対負けません。
まつお 松尾 拓真	環境情報	2	G 176	60	A	1989.7.8	國學院大學久我山	頑張ります
まつたに 松谷 直人	環境情報	2	PF 185	80	O	1989.4.2	福大大濠	勝ちますよ
なるせ 成瀬 太揮	経済	2	マネー 173	60	A	1990.2.2	慶應義塾高校	絶対に負けられない戦いが代々木にはある！
おおつき 大槻 健	商	1	PG 172	65	B	1988.5.20	洛南	精一杯貢献していきたいとおもいます！
かわくち 川口 智大	政治	1	SG 175	68	O	1989.9.17	市川	精一杯頑張ります
こんどう 近藤 蒼	総合政策	1	PG 177	68	A	1990.9.14	秋田	頑張ります!!
のろ 野呂 昇平	法律	1	F 184	80	O	1990.12.27	慶應義塾高校	自分の役割を全うします！
ほさか 保坂 啓太	経済	1	PG 178	73	O	1990.7.19	慶應義塾高校	出来ることを全力でやります！
まえだ 前田 竜太	経済	1	G 174	62	B	1990.6.23	慶應義塾湘南藤沢	打倒早稲田
むらはし 村橋 佑一郎	政治	1	PG 167	65	O	1990.12.1	八代	チームに貢献できるよう頑張ります。
めぐる 目黒 鑑	政治	1	SG 178	65	B	1990.5.23	柏崎翔洋	チームに貢献できるようがんばります。



UNICORNS



部長
大谷 俊郎

慶應義塾大学
看護医療学部教授、医学部兼任教授



監督
斎藤 哲也

慶應義塾大学



コーチ
佐々木 毅

慶應義塾大学



主務
小田部 絵理

文4
慶應義塾女子高



副務
長谷川 美佳

法法3
慶應義塾NY学院高



マネージャー
大西 彩穂子

法政2
慶應義塾女子高



いそがい かなこ 法政
儀貝 佳菜子 3

□ F □ 163
□ AB □ 1988.9.10
□ 慶應義塾女子高
□ いっぱい走ってがんばります!



しょうだ めぐみ 文
正田 恵 3

□ G □ 157
□ A □ 1988.8.31
□ 慶應義塾女子高
□ 慶應愛>早稲田愛



かとう まゆこ 経済
加藤 万由子 2

□ C □ 172
□ O □ 1990.1.19
□ 慶應義塾女子高
□ 初の早慶戦です!思いっきりプレイします!



ちよのぶ あやこ 文
千代 延彩子 2

□ C □ 170
□ O □ 1990.1.21
□ 田園調布学園高
□ チームの勝利のために頑張ります



みやけ ふたば 商
三宅 二葉 4

□ F □ 170
□ A □ 1987.11.21
□ 慶應義塾女子高
□ 最後の早慶戦、出し切ります!



さとう みづき 経済
佐藤 美月 4

□ G □ 153
□ AB □ 1978.6.25
□ 慶應義塾女子高
□ 全員一丸のチーム力で戦います!



こさか りさ 法政
小坂 梨紗 4

□ F □ 161
□ B □ 1987.5.14
□ 浦和明の星女子高
□ 最後の早慶戦、悔いは絶対ません!



たかの ゆうり 環境情報
高野 友理 4

□ F □ 162
□ A □ 1986.7.29
□ 浦和明の星女子高
□ 縦横無尽に駆け巡ります(ベンチを)



いしかわ かなこ 法政
石川 奏子 2

□ G □ 163
□ A □ 1990.1.2
□ 慶應義塾女子高
□ 元気よく頑張ります!



おおたけ さえ 商
大嶽 沙絵 2

□ F □ 164
□ AB □ 1989.6.11
□ 慶應義塾女子高
□ 一生懸命声出します!



まえかわ あい 文
前川 愛 1

□ G □ 158
□ B □ 1990.9.22
□ 八雲学園高
□ 全力で戦います!



かわむら みく 理工
川村 未来 1

□ G □ 161
□ O □ 1990.10.31
□ 県立宮崎北高
□ 勢いよく爽やかにがんばります!



かねむら ちはる 理工
金村 知明 4

□ G □ 158
□ B □ 1987.10.5
□ 慶應義塾女子高
□ 感謝をこめてプレーします!



こたべ えり 文
小田部 絵理 4

□ G □ 158
□ O □ 1987.5.8
□ 慶應義塾女子高
□ 灰になります。海に流してください。



たかおか ようこ 理工
高岡 陽子 4

□ C □ 170
□ A □ 1987.7.9
□ 慶應義塾湘南藤沢高
□ 最後の早慶戦、死ぬ気で挑みます!!



のぐち あゆみ 法法
野口 有佑美 3

□ F □ 167
□ AB □ 1989.1.11
□ 慶應義塾女子高
□ 年に一度の大舞台!楽しみます



やすい ゆかり 経済
保井 裕香里 1

□ G □ 157
□ A □ 1990.1.18
□ 県立船橋高
□ ガッツ出します!



しみず かよ 商
清水 佳世 1

□ F □ 160
□ A □ 1990.7.2
□ 穎明館高
□ アグレッシブに頑張ります!



UNICORNS

強さの証明 慶の 應



2008年シーズン、我ら慶應義塾体育会バスケットボール部は早慶戦を延長の未制し、リーグ戦では激戦区で優勝、入れ替え戦では相手を寄せ付けることなく勝利し1部昇格、勢いそのままに大混戦となったインカレでは史上初となる2部からの優勝という偉業を成し遂げ、大学バスケットボール界に新たな旋風を巻き起こした。最高のシーズンを送ったが故に、今年にかかる期待は大きい。そして今年こそ本塾の本当の強さが問われるであろう。

く、大学バスケットボール界を背負っていくという気概と共に、早慶戦優勝、インカレ2連覇、JBL撃破を目標に掲げ、さらなる高みへと挑戦を続ける。

現在早慶戦の通算成績は33勝33敗、今年勝てば18年振りの早慶戦勝ち越しとなる。部員の早慶戦に賭ける思いは並大抵では無い。部員一人一人がチームの勝敗に責任を負い、それぞれの役割を全うする「自立」という理念の下、チーム一体となり、早稲田に勝利し、18年振りの勝ち越しを歴史に刻もつではないか!

自立の体言

今年の4年生は、春休みの大半を新チームに向けてのミーティングにつき込み、チーム理念を見直したが、シーズン初めから愛知学泉との練習試合に負けるなど、決して良いスタートを切ったとは言えない。しかし、そんな中「行動で示す」という大きな教訓を得たのも事実。しっかりとした理念を全員が行動で体言出来れば、チームを勝利へと導く事が出来るだろう。

そんな4年生の中心となるのが、昨年めざましい成長を遂げた本塾の主将・田上和佳(No.4)だ。昨年



小林



田上

の早慶戦において残り0.3秒でシュートを決め、延長戦に持ち込んだ活躍は記憶に新しい。チーム理念である「自立」を体言すべく、常に一人一歩の努力をし続けてきた主将田上が、大黒柱としてチームを牽引する。

入学時から爆発的な得点力を発揮し、チームを勝利に導いてきた小林大祐(No.5)も、もはや最終学年。研ぎ澄まされた集中力とエースとしての自覚を確固たるものとした小林。最後の年に誰よりも闘争心溢れるプレイで熱き慶應魂を存分に見せてくれるだろう。

小林と共に副将としてチームを支えるのは神田智浩(No.6)と石井敬一(No.8)。神田(智)は堅実なディフェンスからの速攻をはじめ、安定した活躍を見せる。大舞台でも物おじしない度胸を持ち、精神面でもチームを支える。そして石井は、いやらしいまでのディフェンスで、相手ガードを徹底的に追いかける。明るいキャラクターでチームを盛り上げるムードメーカーだ。

慶應の強心臓



岩下



二ノ宮

さらに、個性溢れる選手が揃う4年生。神田貴浩(No.9)はアウトサイドシュートに力強いドライブと器用さと力強さを併せ持つ。彼の内に秘めた闘志は誰にも止められない。店橋唯斗(No.10)、ミスターファンダメンタルとはこの男のこと。誰よりも熱心に練習を重ねてきた男が最後の早慶戦で見せてくれるに違いない。西口裕規(No.11)、誰もが認める本塾のNo.1ダンカ!。その類まれなる跳

躍力を活かしたプレイは時に想像をも飛び越え、代々のコートで躍動する。原城二(No.12)、チーム随一の体格から繰り出されるリバウンドやパワープレイはまさにバスケットの醍醐味。チームの明暗を握る4年生。大学バスケットボール界に慶應あれという金字塔を打ち立てるべく断固たる決意の元、全てをコートに置いてくる。機は熟した、時ぞ今。

昨年の偉業は3年生の飛躍なしには考えることが出来ない。今年は更に上級生としての自覚も加わり、練習中から時には4年生をも上回る気迫を見せている。

そんな3年生には1年時より試合で活躍してきた、言わずと知れた3人に加え、成長著しいメンバーが揃う。まず1人目は二ノ宮康平(No.16)だ。昨年度は、アシスト王となり名実ともに最高の司令塔へと成長を遂げた。誰よりも体育館に早く来てトレーニングを始め

二ノ宮の意識の高さには脱帽する。抜群のゲームメイクセンスでアップテンポな展開へと持ち込み、今年も本塾に勢いをもたらすことである。

二人目は、205センチの長身とどんな相手にも臆することのない勝負強さが持ち味の若下達郎(No.7)だ。圧倒的な高さを誇るブロックショットや本塾のトランジションバスケの起点となるリバウンドでチームを支える。まだまだ伸びしろがある岩下。更なる飛躍

が期待される。

そして、言わずと知れたこの男、酒井祐典。昨年度はシックスマンとしての役割を全うし、常に相手にとって脅威の存在であり続けた。特筆すべきはそのクレバーさである。ゲームの流れ・相手の動きを読み、その上を行くプレイを繰り出す。チームのキープレイヤーとなることは間違いない。また、金岡亮介(No.13)

キーポイント

は気持ち前面上出すプレイヤーだ。強靱な肉体は、厳しい練習の賜物であり、ゲームの流れが悪い時、起爆剤としての活躍が期待される。そして、慶應義塾志木高出身の黒澤悠(No.14)と澤谷裕之(No.17)も有望なバックアッププレイヤーとして、ベンチで控える。各自に与えられた役割を全うすることでチームが勝利に近づくと、間違いない。

昨年最大の弱点であるバックアップを埋めるべく、大きな期待がかかるのが2年生だ。2年生の成長及びチームへの貢献は今年の出来を大きく左右する重要なキーポイントである。そんな2年生には、未だ発展途上のメンバーがずらりと揃っている。まず紹介したいのが、高校時代は無名ながら今ではチームの誰もが実力を認める家治敬太(No.20)だ。得意のフィンガーロールはもろんこのこと、パスの精度も極めて高く、活躍が期待される。次に、昨年終盤から成長著しい春本龍彰(No.19)。インサイドでのプレイだけでなく、高身長ながらミドルシュートの確率も非常に高く、得点力は抜群だ。そして、インターハイ得点王の金子峻也(No.18)。正確無比の3Pに加え、今年はPGとしてのクレバーさも身に付



酒井

あい言葉は、あい!

昨年、我が部は二部昇格を目指したが、惜しくも手が届かずに終わってしまった。改めて二部という壁の厚さを痛感した本塾。今年こそ目標を達成するため、年々強豪化していく3部上位校に、違った角度から勝負を挑む。勝利のための秘策とは、やはり「チーム力」である。さまざまな個性を持つ選手達が、個々で勝負するのでなく、チームで攻め、チームで守るのだ。絆の強い本塾ならではの「チーム力」を武器に、今年の我が部は戦っていく。また、本年度は「チーム愛」をスローガンに掲げている。常に全員がチームのこと、そして仲間のことを気にかけて、チームを第一に考え行動する。四年生を筆頭に進められてきたこの意識改革により、技術面のみならず、精神面でも大いに成長を遂げた新生慶應に乞うご期待!

チーム愛

チームの核である四年生は、スローガンの「チーム愛」に忠実に行動し、さらに最上級生の役割をしつかり体現することにより、チームを牽引してきた。そんな頼れる我が部の四年生を紹介していこう。

今年度主将を務めるのは、大型ルーキーとして一年時から勝利に大きく貢献してきた#4三宅だ。練習前は誰よりも早くコートに現れシューティングをする。ストイックな姿勢でトレーニングに励む。三宅のそんな姿は仲間の胸を熱くする。並外れた身体能力に加え、努力家な彼女は、まさに主



#4 三宅

頼れる背中

将の鏡である。三宅の持味は、なんといつてもそのシュート力にある。中学時代から磨き上げてきた力強いポストブレイは勿論、ガードさながらの外角のシュートは入りだしたら止まらない。最後の早慶戦、三宅集大成の年に注目だ!

体は小さいが、チームを想う気持ちは一番大きい#5佐藤。例えばチームが不安定な状態に陥ったとしても、彼女の一声で我が部は正しい軌道に戻る。そんな佐藤は本塾の精神面での大黒柱である。どんなに辛い状況でも奮闘し続ける佐藤の姿に、仲間達は感嘆し、その背中を追う。プレイでは小柄な体格を活かし、低く鋭いカットインでリングを狙う。また、得意の3pは早慶戦でも美しい弧を描き、チームを救ってくれるだろう。

チーム一の頑張り屋である#6小坂は、どんなルーズボールにも果敢に飛び込み、ボールをもぎ取る。昨年からはスタメンとして活躍してきた小坂、普段の優しくて温かな性格からは想像もつかない、強気なプレイでチームを引っ張ってきた。ここぞという時に魅せるドライブからのジャンプシュートは必見だ。切れ味の鋭いドライブで、今年も観客を湧かせてくれること、間違いない!

過去に大きな怪我を乗り越えた#7高野。自身の経験を活かし豊富な知識で、チームメイトの体を管理する。アツト時から一番声を出し、練習の雰囲気を作り出す高野は、まさにチームの盛り上げ隊長である。また、マークを振り切った放つ3pは非常に安定感があり、チームの中でも一目置かれている。常にチームの状況に目を配り、コートの中

から、そして外からも周りに声をかけ続ける#8金村。気迫のこもったディフェンスは相手チームにプレッシャーを与え、本塾を勢いづける。代々木体育館のコートでも、金村の声が響き渡ることは間違いないだろう。

主務であり、我がチームの司令塔でもある#9小田部。冷静な判断と広い視野、そしてなんといつてもチームで一、二を争うスピードを持ち味に、縦横無尽にコート駆け抜けける。ときに周りを活かし、ときに自ら得点を奪う。一瞬にしてディフェンスを抜き去るドリブルチェンジは圧巻である。また、小田部の脚力から繰り出される粘り強いディフェンスは早稲田を翻弄させてくれるだろう。

怪我から念願の復帰を果たした#10高岡。本塾一の長身を誇り、長いリーチによるゴール下でのリバウンドは存在感抜群である。長期に渡り怪我に悩まされてきた高岡だが、その鬱憤を晴らすが如く、今年はコートで爆発してくれているだろう。最後の早慶戦に、四年間の想い全てをぶつける。

切磋琢磨

四年生を色々な面から支える三年生は、人数こそ少ないものの、それぞれが個性豊かで、誰一人としてチームに欠かすことは出来ない存在だ。それでは、三年生を順番に紹介していこう。

インサイドで見事な合わせを見せたかと思えば、外に出て、自ら綺麗なルーブで3pを沈める#11野口。常に周りを見ながら、ディフェンスの一瞬の隙をつき、ことごとくゴールを奪う。相手ディフェンスを揺さ振るオフェンスに加え、さらに堅実なディフェンスでチームに安定感をもたらす彼女のプレイは、チームメイトからの信頼も非常に厚い。



#9 小田部



#5 佐藤

情熱の司令塔 3Pシューター

どこからともなくゴール下へ飛び込み、どんな体勢でもボールをつかみ取る#12磯貝のリバウンド力は定評があり、我がチーム内では群を抜いている。また、強固なディフェンスで、本塾のゴールを守る。攻守両方で常に本塾にリズムをもたらしてくれる磯貝の存在は、もはや本塾の勝利に欠かすことは出来ない。

チームナンバワンのムードメーカーである#13正田。彼女の素敵な笑顔、元気な声、そして常に周りへの気遣いを忘れてない優しさは、チームにとって必要不可欠な、いわば三種の神器である。本日も大いにチームを盛り上げてくれることだろう。

専属スタッフとして常に全力でチームを支えている長谷川。帰国子女である彼女は、非常に明るくトウクも巧妙。彼女から元気をもらっている選手も少なくないだろう。また、事務的な仕事に加え、チームのためにトレーナーの仕事もこなす彼女はオールマイティで、チームから絶大な信頼を得ている。

新チームの始動時から、「チーム愛」というスローガンの下、チームで勝つことを強く意識してきた慶應女子部。お互いに声をかけ合い力バシしながら、切磋琢磨していくことにより、チームメイト同士の絆は格段に深まった。

チーム力と個性豊かな部員で戦う今年の早慶戦に乞うご期待!!

THE 対談



今年の早慶を引っ張る主力は全員が九州出身。ともに気の置けない仲間たちであり、かつて同じチームだった友が今は敵、あるいはチームメイトとなって切磋琢磨を続けている。そんな彼らの早慶戦への思いと、知られざる九州時代の逸話を語ってもらった。

33勝33敗 遂に勝敗がタイの正念場

早慶戦も今年で67回目。男女とも勝敗がタイという、ある意味すごく重要な年になりましたね。

小林：どれだけライバルなんだ。

山田：本当に（笑）。

みんなが入学したときから勝敗が並びそう、という環境で戦ってきたと思うんですが、プレッシャーは？

田上：慶應は勝敗をタイにすることをずっと目標に入れてきたからね。勝ち越したいのは当然。

東：早稲田は今年勝たないとまずい。負けられない。

小林：でも、1年のときは勝敗がどうか、タイになるとか、そういうのは実際全然意識してなかったよね。

山田：去年も「あ、タイになったんだ、みたいな。そういう感じであまり考えてなかった。でも今年はいろいろな人に言われそうだし、意識せずにはいられない。

去年は久しぶりの延長戦で盛り上がりました。直前の大会で慶應は3位で早稲田はベスト16。だけど早慶戦はずっと早稲田がリードする面白い展開でしたよね。早稲田には何が良かったのかな？

山田：アドレナリンのせいだと思う。早慶戦はやっぱり雰囲気が違うから。

東：リードしてたけど、気を抜いたらダメだというのがあった。

小林：自分たちも結構警戒してたんだけどね。春の成績がどうかは考えてない。

田上：ピリピリしてた。早慶戦までの練習もあまり良くなかったし、試合の入りも悪かった。

小林：うん、悪かった。

東：こっちも悪かったけどね。なかなか点が入らなかったし、バテた。ただ、自分は普段出ない力があのかき出たと思う。でも練習が足りてなくて、結局は足がつって交代したんだけど（苦笑）。

田上：でも決めてきたよね。

小林：シュートが入ってた。「どうした！」って思ったよ。早慶戦まで（あまり試合に出ていなくて）データになかったけさ。

一同：（笑）

小林：だから負けたと思ったもん。インサイドでは岩下も久保田にやられとったよね。

山田：あいつ岩下相手だとめっちゃ気が強くなる。「ボール下さいっ!!」って（笑）。普段はなんか「えへへ」って感じなんだけど、岩下とやるときだけは「いける、俺いける!!」とかって（笑）。

東：じゃあ、パス回すわ。

一同：（笑）

山田：でも最後の早慶戦だし、勝ちたいな。……勝ちたい。

東：4年だし、最後だから勝つためには何でもするっていうぐらいの意気込みはある。

田上：でも、こっちも勝ちにいくな。

小林：もちろん！

早慶戦の思い出というと、どういうのがありますか？

山田：全部、何もかもが思い出なのが早慶戦。特に会場の雰囲気はすごい。

小林：これだけ盛り上がる大会はないもんな。でも1年のとき、負けて泰滋さん（1）がトイレに駆け込んで泣いてるのを見たときは「うわぁ」って思った。あの試合は早稲田にいた田上のお兄さん（2）がよくて、後半逆転されたんだよね。

早稲田×慶應

山田：（笑）

田上：でもまあ、4年になってみて責任の重さってのは感じるから、甘くはできない。

山田：今年の早稲田はそういった負担を分け合う意味でも東が主将で、残りの4年全員が副将。キャプテンだけに背負わずじゃなくて、みんなでやっていこうという気持ちでやってる。「みんながキャプテンの気持ちじゃなきゃダメだ」って言われたけど、確かにそう。「東を助けよう」っていう雰囲気副キャプテンを決めた。

田上：慶應も似たような感じだな。小林・神田（智）・石井の3人が副将だから。

小林：自分はゲーム中しかなかったけど（笑）。副将がそれぞれ分担してる感じ。

そういうところもライバルって感じですね（笑）。

ポテト事件とモザイク事件 山田純也は金八先生!?

普段からこの九州のメンバーって付き合いはあるんですか？

小林：なんだかね純也とは電話しよるよね。近況しゃべったり。

山田：遠いから遊ぶとかはなかなかないけど。大濠は仲いいよね。

田上：大濠以外は普段から親しいとかではないけど、去年の電鉄杯の帰りに焼き肉パーティーとかやったけど。

東：延学は...会ったら話す？（笑）基本九州はみんな仲がいいと思う。

小林：でも高校時代は東としゃべったこともなかった。

東：入学するときに純也が早稲田って聞いて、初めてしゃべった。

山田：もうバスケット部は引退してて、新人戦だったんだけど、そこで会って「こんにちは」って。

東：その後エンデバー（3）に行ってみんなと話して、連絡先交換したかな。

小林：そうやったっけ。よく覚えてるね。

東：向こうにいても九州大会くらいでしか対戦しないし、そんなに接点はなかった。対戦したといっても九州大会とインターハイとか大きいところしかない。

みんなが高3の延学と大濠のインターハイ決勝はいい勝負でしたよね。

小林：東がよくわかんないところから決めるんだよね。しかも替わりに入ってきた奴も決めた。

東：あいつ普段入らないのに、あの決勝では1/1だからね（笑）。

残り3人はミニバス時代からの付き合いですよ。

山田：この2人（田上・小林）との最初の出会いでポテト

田上：その時自分はケガしてて応援席で見てた（苦笑）。

小林：1年のときは負けてどうかというのが全然わからなくて。「ああ、やばいのかなあ」みたいな。泰滋さんのその姿を見て早慶戦を実感したというか。

山田：俺は1年のときは勝ったけどずっと上でチケット切ってたから、そういう意味で分からない（笑）。

4年がチームのために 自覚を持って

春からスタートして数ヶ月、今年は慶應と早稲田はどんなチームですか？

山田：早稲田は今年、監督が倉石さんに替わって本当にゼロからのスタート。全部一からだから新鮮だし、選手同士でもしっかりコミュニケーションを取ってやってる感じ。倉石さんが求めているものを吸収して、全員が考えを理解しなければならぬし、それができれば強いと思う。選手も25人ぐらいだからまとまってやれるし。

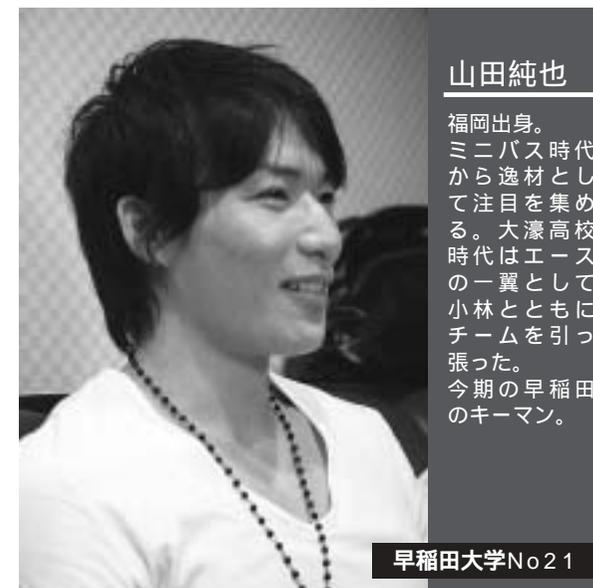
田上：こちらは去年インカレで優勝もしたけど、まあいろいろあったね。4月頭の関西大との定期戦でようやく調子が良くなった感じはあるかな。でもまだ個人個人甘い部分がある。"去年の成績に乗っかっちゃえ"みたいなところが。小林：今日は試合だったんだけど、ゲーム中キレたもんね。初めてだよ、そんなことしたの。

田上：あれはすごかった（苦笑）。

それはあまり見られない姿かも。4年生だからこそその自覚？

東：純也は練習中しよっちゃうキレてるけどね。

小林：そういえば大濠でもそうだった（笑）。



山田純也

福岡出身。ミニバス時代から逸材として注目を集める。大濠高校時代はエースの一翼として小林とともにチームを引っ張った。今期の早稲田のキーマン。

THE 対談

を取られたというのが思い出かな。昼ご飯に体育館の廊下でハンバーガーを食べてたら、2人が歩いてきた。結構有名だったから「小林と田上が来た」と思ってた、「ポテトもらうぜ」って。

一同：（笑）

田上：何だっけ、たまたま通ったんだよね。

小林：俺たちお弁当はおにぎりしかダメだったから。具をおにぎりに入れるだけ。それでうらやましかったんだと思う。マック食べてるのとかが。

山田：俺のポテト…。

小林：懐かしいね、そこからだね。でも純也は170cmぐらいあって超デカかったから、結構噂してた。

田上：毎回する話があるんだけどさ、エンドラインからボール投げて入ったやつ。

小林：小学校の秋期リーグだけ？残り時間ギリギリでこっちが3点勝ってたんだよね。

田上：大祐がフリースローの2本目を外して、ボールが純也に渡ってエンドラインぐらいから投げて入った。ミニバスに3Pがあれば同点だった。

山田：うちのお母さんあわてすぎて、あの瞬間、ビデオのモザイクのスイッチ押したから。だからその瞬間モザイク画面で残ってる（笑）。

でも小学生でそれだけ肩の力があつたんだ。

小林：さらに髪がめっちゃ長かった。髪分け目が真ん中で金八先生みたいな（笑）。

山田：いつも親父に切ってもらってて、髪の毛とか別にいいやってそんなに切らなかつた。だから前髪とか目が隠れるぐらいにすっごく長かった。

小林：でも高校の時にもうちょっとどうにかして、みたい



東 達也

宮崎出身。宮崎・延岡学園で全国制覇。インターハイ決勝での延岡学園と大濠高校の名勝負は記憶に残る。勝負強い3Pが魅力。

早稲田大学 主将 No1

に言ったんだよね。バーンって切ったのはいいけど、それが学校行く前に切ってもらってて、時間がなかったから片側しか切ってなくて半分長いままなの（笑）。

今からは想像もつかない。でもそうした相手と今もチームメイトだったり対戦するって、当時は想像もしなかったのでは？

小林：インターハイ決勝で戦った相手と早慶戦の場でやるって考えたら、すごいと思う。

東はイタズラ好き 田上はカフェで読書！

それぞれのキャラを知りたいんだけど、チームメイトがどんな人が教えてください。面白いところはある？

東：純也は何も考えてない（笑）。

小林：あ、ある！そういうとこ。

山田：（笑）

東：何も考えずに質問とかしてくる。今日も渋谷集合って言われたけど、「ハチ公前かなあ」とか、何も考えずに聞いてくる。思いつきで言うよね。

山田：バスケットでは考えるようにしてるよ（笑）。達也はこう見えてすごいイタズラ好き。後輩とかをかまなくて、後輩もそれがちょっとうれしい、みたいな。冬のめっちゃ寒いときにシャワー室で水を出したりとか、そういう感じでいじってチームは楽しくやってます。

慶應側は？

小林：面白いところっていうか、タノは私生活が分からない。分からなくない！（みんなに同意を求める）

田上：まあ...家にいるか…。



田上和佳

福岡出身。Mr.everythingの異名を取る慶應の主将。内外ともに器用なプレーとストイックな姿勢でチームを引っ張る。小林とはミニバス時代からの幼なじみ。

慶應義塾大学 主将 No4

早稲田×慶應

小林大祐

福岡出身。入学時からスタメンを努める慶應のエース。力強い1on1と3Pで慶應の攻撃起点となる存在。田上とはミニバス、山田とは大濠高校時代のチームメイト。



慶應義塾大学 副将 No5

今でも当日緊張はする？

東：緊張…？

小林：下級生のときは違うけど、今でもドキドキするよね。ワクワクもするし。

東：いい緊張感。観客もいるからナーバスな感じではない。

小林：友達もたくさん来るし。

この中で唯一1年から出ているのは小林くんだけけど、1年のときは緊張しなかつた？

小林：あのときは最初緊張してて、1回スクリーンアウトか何かをしなかつたら泰滋さんに怒られて、それで緊張がほぐれたことはある。「スクリーンアウトどうしたあ!!」って言われて「はあっ!!」って。

一同：（笑）

これまでもいい勝負で主将が号泣したり、早慶戦には名場面があったけど。

小林：勝っても負けても泣けるってのが早慶戦のすばらしさ。

勝つことはもちろんだけど、そういう感動できる試合が見たいですね。

小林：（神妙に）はい。

一同：（笑）

山田：俺のイメージでは、カフェでずっと本を読んで！原宿あたりのオープンカフェとかで。慶應ボーイのイメージ？

一同：（笑）

田上：いや、だいたい家にいるか記念館とか…。

小林：とりあえず謎めいたところがいい。

田上：そんなに謎めいてる？

小林：何してるかそんな聞かんけんね。浮いた話とかも。

田上：ああー。

ないんですか？

田上：いやいやいや（笑）。

幼なじみなのに意外と知らない、と。

田上：大祐は僕の印象っていうか周りの総評なんだけど、他人に興味がない。面白いぐらいに（笑）。

小林：その場を受け流します（笑）。純也もそういうところあるよね。だから気が合うんだと思う。

一同：（笑）

下馬評がないのが早慶戦 いい緊張感で最高の試合を

今年の早慶戦はどんな試合にしたいと思う？

山田：去年みたいにすごく盛り上がる面白い試合をしたい。観客の人もすごく盛り上がってくれたし、すごかった。みんな最後は立ってたよね。

あんなことはまずないよね。本当は消防法の関係で立ってはいけないんだけど。

小林：え、ダメなの？

ダメなんです。でもだからすごかった。

東：だから普段出ない力も出た。

田上：あんなにコートの上で声が通らないってのは、考えられない声援だよ。自分の声も聞こえないし。

小林：あんな試合ほかにないもんね。あと1回で終わりだと思つと寂しい。

東：今年も土曜？金曜日は普通に授業があるから土曜の開催はきつい。朝早いからな、早慶戦。

田上：男子戦までが長いから。試合の出だしが悪いのはあるかも？

その前に関東トーナメントでもまた同じブロックですよな。

東：早慶戦の前にやるのは嫌だよね。

山田：嫌っス。

小林：早稲田とはほかの大会でもよく当たるから、何回やるんだってのはあるね。

田上：あるね。でもいくら対戦しても早慶戦は全く別だから。事前にくらやっても当日の行方は分からない。そこまでの結果とかが全然関係ないのが早慶戦。

1：酒井泰滋（'03-'06慶應義塾大）現在JBL日立サンロッカーズ所属。2009年度日本代表候補。2006年度主将として早慶戦に挑むが、4年間で初めての敗北を喫す。
2：田上順一（'03-'06早稲田大）田上和佳の兄。酒井泰滋とは大濠高校時代のチームメイト。
3：日本協会が行っている普及・育成活動。